

各 位

本社所在地 東京都千代田区九段北 4-2-6
会社名 **レカムホールディングス株式会社**
代表者名 代表取締役社長 伊藤 秀博
(コード番号: 3323 大証 JASDAQ S)
問合せ先 取締役常務執行役員経営管理本部長
川畑 大輔
(TEL: 03-5357-1411)
(URL: <http://www.recomm.co.jp>)

特別利益および特別損失の計上ならびに
平成 25 年 9 月期第 2 四半期業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 9 月期第 2 四半期において、下記のとおり特別利益および特別損失を計上する必要が生じ、また、平成 24 年 11 月 16 日に公表しました平成 25 年 9 月期第 2 四半期の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 特別利益および特別損失の計上について

1. 特別利益の内容

平成 25 年 9 月期第 2 四半期 (累計)	特別利益の総額	14,477 千円
(その主なもの)	事業譲渡益	12,483 千円
	固定資産売却益	1,436 千円

2. 特別損失の内容

平成 25 年 9 月期第 2 四半期 (累計)	特別損失の総額	22,749 千円
(その主なもの)	債務保証損失	6,584 千円
	債務保証損失引当金繰入額	3,810 千円
	減損損失	5,118 千円
	事業整理損失	4,157 千円
	事業整理損失引当金繰入額	2,046 千円

3. 計上に至った経緯

- ①事業譲渡益につきましては、当社子会社のレカム株式会社（以下、「レカム」といいます。）の 2 支店の撤退に伴い、当該支店の顧客を同業他社に引き継いだことにより発生したものであります。
- ②固定資産売却益につきましては、レカムの不使用となった固定資産を売却したことにより発生したものであります。
- ③債務保証損失につきましては、レカムが債務者に代わってリース会社等へ支払った損害金であります。
- ④債務保証損失引当金繰入額につきましては、レカムのリース会社等に対する債務保証額のうち、顧客の信用状況等を考慮した損失見込額を引当金として計上したものであります。
- ⑤減損損失につきましては、当社子会社の琉球レカム・リアル株式会社（以下、「琉球レカム」といいます。）におけるコールセンター事業の大幅な事業縮小に伴い、業務に使用していたリース資産を減損処理したものであります。

⑥事業整理損失および同引当金繰入額につきましては、琉球レカムにおけるコールセンター事業の大幅な事業縮小に伴い発生した費用、および、将来の損失発生に備えて引当金を計上したものであります。

II. 平成 25 年 9 月期第 2 四半期業績予想との差異について

1. 平成 25 年 9 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想と実績の差異(平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,173	50	47	30	134 円 41 銭
今回実績(B)	2,085	△30	△40	△86	△387 円 51 銭
増減額(B-A)	△88	△80	△87	△116	—
増減率(%)	△4.0	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 9 月期第 2 四半期)	2,237	25	17	11	51 円 20 銭

2. 差異の生じた理由

連結実績と前回予想との差異が生じたのは、不採算事業の徹底的な見直しに取り組み、期中においてコールセンター事業の大幅な事業縮小や、営業拠点の廃止等の施策実行したことなどから売上高が計画を下回ったこと、それにより想定された利益を確保できなかったこと、繰延税金資産の取り崩しを行ったこと、ならびに、上記「I. 特別利益および特別損失の計上について」においてご説明いたしました不採算事業の徹底的な見直しに伴う特別損失が発生したこと等によるものであります。

3. 通期の業績予想について

通期連結業績予想につきましては、今後、当社グループは、当社と中核事業会社であるレカムとの合併を柱とする「グループ経営体制の再編」により、情報通信機器販売事業に選択と集中をさらに進めていくこととなりますが、当社とレカムの合併を含めたグループ再編の影響度を精査している状況であるため、それらが把握でき次第速やかに、新たな業績予想を公表する考えであります。

以上